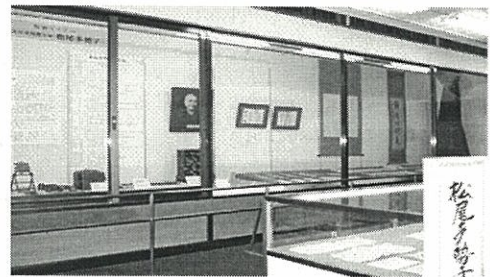


### 平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「松尾多勢子のふるさと・豊丘村」づくり ～地域の歴史再発見～
事業主体 (連絡先)	豊丘村 (豊丘村教育委員会)
事業区分	歴史的遺産の整備、展示による文化財意識の高揚
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,294,490円 (うち支援金: 604,000円)

#### 事業内容

- 資料整理・資料館への常設展示コーナーの設置  
古文書の解説を中心に、寄託された資料を整備し、台帳化を進めた。貴重な資料は常設展示コーナーに展示し、常に閲覧できる体制を整えた。
- 資料館案内板の設置・パンフレット作成  
「松尾多勢子のふるさと・豊丘村」と書いた資料館案内板を役場交差点付近に設置、またパンフレットを作成し、見学者に配布する。
- 松尾多勢子展を開催。250人が見学。



【資料館内に設置された常設展示】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

#### 事業効果

「松尾多勢子のふるさと・豊丘村」として多勢子に関する資料の整理、展示ができたことは、村の文化的価値を大いに高めた。多勢子展には期間中通常の5倍、約250人が見学に訪れた。今回資料館内に松尾多勢子常設展示コーナーが整備できたことにより、人物を身近に感じることができるようになった。また資料館の展示内容の充実を図ることができ、資料館の存在も大きくなった。

#### 【目標・ねらい】

- 村を代表する歴史的人物について理解する。
- 文化的財産への関心を高める。
- 特徴ある資料館づくり
- 貴重な資料の保管、展示

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

#### 今後の取り組み

常設展については、定期的にテーマを定めて、展示内容に変化を加え、資料館への入館者の増加を目指す。また近く生誕200年を迎えることから、特別展の開催や松尾多勢子への関心を高めるための広報活動、展示物紹介 (CATVを活用した番組作り) を展開する。

制作したパンフレットについては、入館者のみならず、機会あるごとに資料として配布し、豊丘村の歴史的人物を広く紹介していく。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70～89%「C」50～69%「D」49%以下で示すこと。